

ITS News in Korea 2026 - Vol. 3

If the email appears to be broken, please click here

BOD & IPC Meetings Shaped 2026 Gangneung ITS Congress Preparation



3月17日から19日にかけて、ITS理事会（BOD）および国際プログラム委員会（IPC）の約50名が江陵（カンヌン）に集まり、公式会議、現地視察、ならびに技術セッションや会場運営を含む主要な大会プログラムの最終確認を行いました。

代表団は、江陵コンベンションセンター、オリンピックパーク、船橋荘（ソンギョジャン）などの主要会場を視察するとともに、主催者とのネットワーキングおよび運営調整の機会にも参加しました。

大きな問題は確認されず、今回の訪問を通じて、江陵が世界水準のITS世界会議を成功裏に開催するための高い準備状況にあることが確認されました。



📍 AP BOD Meeting

アジア太平洋地域の理事会（BOD）では、主要な地域アジェンダについて協議が行われました。具体的には、2028年ITSアジア太平洋会議の開催都市としてシンガポールを選定した件、今後開催予定のオークランド会議に関する最新状況、ならびに開催都市選定に関するAP MOU（覚書）の改定案などが議題として取り上げられました。また、地域全体におけるITS人材の育成を目的としたメンターシップ・プログラムの創設に関する提案についても意見交換が行われました。



📍 Technical Visit

代表団は、**江陵コンベンションセンター、オリンピックパーク、江陵市情報センター、ならびに船橋荘（VIPディナー会場）**など、主要な会議関連施設の現地視察を実施しました。本視察を通じて、施設、テクニカルツアー、ならびにイベント運営に関する最終確認が行われ、大会開催に向けた全体的な準備状況が整っていることが確認されました。



📍 WC BOD Meeting

世界会議理事会（World Congress BOD）では、江陵2026大会をはじめとする今後の大会に関する進捗状況について審議が行われ、あわせてアトランタ大会および将来の開催地からの報告が共有されました。江陵に関する詳細な報告では、国際級会合、展示、デモンストレーション、各種セッションの企画状況が説明されるとともに、交通アクセス、会場間の動線、高位レベルの関与などについて建設的な意見が示され、大会運営のさらなる充実に向けた改善点が整理されました。



📍 IPC Meeting

IPC（国際プログラム委員会）は、3地域から参加した31名の委員により開催され、プレナリーおよびエグゼクティブ・セッションの構成を含むプログラム開発の進捗状況や、投稿状況について確認が行われました。その結果、論文501件、セッション提案143件が提出されており、特別セッション約100件およびテーマ別セッション83件の最終調整が進められています。あわせて、査読プロセスおよび登壇者の調整が継続して行われており、4～5月にかけての確定に向けて作業が進行中です。